

講演の一番目は、熊本県健康福祉部健康危機管理課課長補佐の小山宏美様から「予防接種は縁の下の力持ち〜くくるしい感染症からまもつてくれる 予防接種のお話だモン〜」と題して、昨年から今年にかけて、麻疹や風疹が流行しており、有効な治療薬はなく、予防接種に注目が集まっているので、感染症の基本的な事から予防接種の制度や役割といった基礎知識を分かりやすくお話しいただきました。

講演の二番目は、一般社団法人熊本市医師会熊本地域医療センター／熊本県予防接種センター小児科部長の柳井雅明先生から「こどもの予防接種の現状と課題」と題して、予防接種を受けることは個人を感染症から守り、かつ、社会全体を守るために重要で、今回は進歩が見られた予防接種の現状と今後の課題について分かりやすくお話しいただきました。

講演の三番目は、みやはらレディースクリニック院長の宮原 陽先生から「若い世代に増加する子宮頸がんワクチン接種の現状について」と題して、子宮頸がんワクチンについて正しく理解していただくよう、現状について分かりやすく解説していただきました。

講演の四番目は、済生会熊本病院TQM部（感染管理室、医療安全管理室、品質管理室）副部長の村中裕之先生から「肺炎球菌ワクチンの現状」と題して、肺炎球菌は肺炎の原因菌として最も多く、しばしば全身感染症を引き起こし重篤になることが知られており、肺炎球菌感染

症の特徴や発病のリスクを分かりやすくお話しいただきました。

講演終了後の質疑応答は、あらかじめ寄せられた質問に講演者が答える形で行いました。約一〇七人の来場者があり、内容を、四月十九日の熊本日日新聞紙面に掲載しました。

なお、平成三十年年度開催しました三回の市民公開セミナー（第六十四回〜第六十六回）につきましては、本財団のホームページにも掲載しました。

総合生活情報紙「あれんじ」の健康・医学・医療・学術記事の執筆・監修

副理事長 山本 哲郎

平成三十年度も、熊本日日新聞社発行の総合情報紙「あれんじ」（タブロイド判十六頁三十五万部発行）の第一土曜日分の十面と十一面の見開き二頁について執筆・監修を行い、健康・医学・医療の学術情報を県民に提供しました。内容としては「元気の処方箋」（最新の医学医療記事）と「子育て応援クリニックス」（小児科関連の医学医療記事）（十面）は十二回（毎月）、「慈愛の心・医心伝心」（女性医療人によるリレーエッセイ）（十一面）を八回（五、六、八、九、十一、十二、二、三月）掲載いたしました。また、「四季の風」（季節の新作俳句）（十一面）を四回（四、七、十、一月）掲載いたしました。

なお、これらの全ての記事を「肥後医

育振興会」のホームページに掲載しており、どなたでも自由に読めるようになっていきます。「慈愛の心・医心伝心」などは読者からの読後感想が毎回のよう熊本日日新聞社に寄せられているので、皆様、ぜひホームページもご覧下さい。

以下に「元気の処方箋」のテーマを記載します。

四月 ロボット支援手術をご存じですか

五月 快適な生活と健康のために治療を 睡眠時無呼吸症候群

六月 適切な治療で神経痛の後遺症を防ぎたい 帯状疱疹

七月 内視鏡検査（治療）を正しく知ろう

八月 ピロリ菌検査・除菌が予防につながる 胃がん

九月 夏冷えによる体調不良を改善（ピラティス編）

十月 正しい姿勢・深い呼吸で心身をリフレッシュ（ヨガ編）

十一月 糖尿病をもつとよく知ろう

十二月 ワクチン以外の感染予防対策もセットで実行 インフルエンザを予防しよう

一月 適切な診断・治療で改善 白内障

二月 高齢者とは異なる対応が必要な若年性認知症

三月 発育期に注意したいスポーツ障害

「第九回熊本県医療人育成総合会議」の開催

常任理事（事業担当） 遠藤 文夫

超高齢社会の日本では、認知症患者が急増しており、二〇二二年に四六五万人だったものが、二〇二五年には七〇〇万人まで上昇すると言われている。この状態において、臨床の現場では認知症患者と遭遇することが増え、対象患者が認知症を合併している可能性を恒に考える必要がある。これからの医療人には認知症についての知識と認知症合併症への適切な対応能力が不可欠であり、熊本県の医療人育成機関における今後の教育体制や専門家の育成につて議論を進めるために、「第九回熊本県医療人育成総合会議」を開催しました。

認知症では認知機能障害の治療だけでなく、多職種がかかわりいかに教養面でのサポートをするかでQOLが大きくなっていることが知られており、実際に医療現場でどのようなことが行われているか解説が行われ、また、認知症並びに認知症者に対する理解不足から生じる偏見、不適切な対応が数多く見られることから、「医療人養成機関において、認知症をどのように教育していくべきか」について考察を行いました。

- 実行委員：遠藤文夫（実行委員長）、入江徹美、宇佐美しおり、尾池雄一、河野文夫、木原信市、迫田芳生、辻野智二、古川 昇、松下修三、山本哲郎、橋本 衛、